

WLB（ワークライフバランス）の定着・浸透  
—制度・実態ギャップと中小企業  
要 約

学習院大学 脇坂 明

WLBのうちのファミリー・フレンドリー（ファミフレ）制度があっても、利用者がいないなど実態が進まない企業の特徴は、男女均等でないことと、従業員は、やりがい、達成感、成長感などがなかった。

300人以下の中小企業においても、300人以上に関する先行研究と同じく、均等もファミフレも高い「本格活用企業」は、財務や従業員の定着などに効果をあげている。また、労働時間対策や人事制度の整備、自己啓発にも「本格活用企業」が熱心であることがわかった。

（フルペーパーは、2008年度労働政策研究会議共通論題提出論文。修正加筆したペーパーは、日本労働研究雑誌に2009年掲載予定。）